

目次 CONTENTS

- 2 今月の話題「野手上山」
- 4 特集「災害に備えよう」
- 10 報告のページ「6月議会定例会」
- 12 飯館百景「初夏の花景色」
- 14 ほけんとふくし「コロナワクチン」ほか
- 15 学びの広場「柏餅づくり」ほか
- 16 いいたて便り
- 18 話題のパレット
- 19 はなれていても／ふれ愛館だより
- 20 おしらせのページ
- 21 入札結果
- 22 いいたてDIARY／ラオス通信。
- 23 ふるさと資源／ひとのうごき
- 24 ほっとNEWS／飯館言葉の達人



今月の表紙

『ふかや風の子広場』で元気いっぱい遊ぶ兄妹に出会いました。家族で公園を訪れていたのは小山田君（つかさ）さん（前田）家族。遊具をくぐったり登ったり、元気いっぱい遊ぶ2人に両親がやさしく寄り添っていました。この広場の隣に完成したドッグランは7月17日にオープンの予定。『深谷復興拠点』に新たなわくわくが広がります。

人々の思いをつなぐ「野手上山」

次の一歩につなごう！有志の地道な活動が続く

地域に愛される
うつくしま百名山

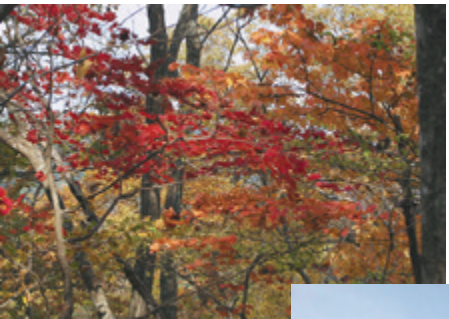
登山家の故・田部井淳子さんを委員長とする選定委員会により、平成10年に選定された『うつくしま百名山』。野手上山は、花塚山、虎捕山と共にこの百名山に選定され、それを期に遊歩道が整備されました。美しい森を歩く「ナラの森コース」「サワグルミの森コース」「シロヤシオの森コース」「ケヤキの森コース」、溪谷を望む「新田川コース」「比曽川コース」、そして野手神社へ。山神社への参道となっている大鳥居からの登山道。山野草、山菜、キノコなど、山の恵みの豊かさを体感できる名山です。

そのにぎわいは、震災と原発事故による全村避難により途絶えてしまいましたが、今も時折登山を楽しむ人が訪れます。また、有志による環境維持の活動が続けられていて、今年5月には、里山再生事業の実施地区にも選定されました。

里山の状況に合わせて、除染・森林整備・線量測定などの事業を組み合わせ実施し、住民が安心して利用できる環境づくりを進める国の事業。野手上山は、今年5月に、実施地区として選定されました。今後3年程度をかけて、主に遊歩道周辺で取り組みが進められる予定です。



カタクリ（上）、シロヤシオ、ヤマツツジと花の季節はめぐり、間もなくイワウチワ（左）の群生が見頃を迎えます。



上）紅葉のグラデーションはため息の出る美しさ。秋の絶景も登山者の人気を集めています。右）表参道の登り口。大鳥居が登山者を出迎えます。

今月の話題
vol.15



野手上山

地元では「のどがみやま」と呼びます

標高628.6m。小宮行政区の野手神地区に所在。山頂部には野手神山神社があり5柱の石祠が納められています。養蚕の神様ということから、養蚕地帯だった伊達地方の養蚕家が参拝。地元住民と神社の氏子が共催で山登りイベントを開催し、郷土芸能の披露や餅つき大会などで交流を重ねていました。

地元に恵みをもたらす宝の山

遊歩道のオープニングイベントのにぎわいを、今でもよく覚えています。予想以上の登山客で、山頂まで人の列がつながってしまったんですよ。

野手上山の素晴らしい自然が体感できるこの遊歩道を、何とか残していきたいと、有志で活動をしています。野手上山は、地域とのつながりが深い山です。春は山菜、夏は魚釣り、秋は見事な紅葉とキノコ、冬は雪景色と炭焼き…地元にとってはまさに「宝の山」だったのです。



野手上山を守る会
代表 渡邊守男 さん
（小宮）

震災後に有志7人で「野手上山を守る会」を立ち上げ、環境整備を続けています。